

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路管理課		作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			総従事者		時間外勤務時間	
施策目標	49	身近な生活道路を安全で快適にする		市村 敬		管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均	
						3 人	21 人	1 人	0 人	2 人	24.80 人	5.808 時間	23.0 時間	

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
狭あい道路の整備延長率	38.69%	41.47%	38.69%	39.48%	40.06%
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	生活道路の整備
2	道路排水施設などの整備
3	だれもが利用しやすい道路空間の確保
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)															Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円)	H30予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止				
					H29決算(円)	H30決算(円)	(対象) (手段・方法) れた成果・効果)											
1	幹線道路維持保全事業	1	0.22	一般	6,669,000	0	計画的な維持管理による安全安心な道路環境を図るため、幹線道路の舗装修繕工事を行うもの。30年度は整備工事実績なし。	舗装修繕、歩行空間表示、自転車走行空間、踏切内表示、電線共同溝の整備延長	舗装 510m 歩行 727m 自転車 742m 踏切 1箇所 共同溝 0m	舗装 0m 歩行 0m 自転車 0m 踏切 0箇所 共同溝 0m	実績なし	変動なし						
2	橋りょう等長寿命化修繕事業	3	0.62	一般	38,386,304	14,740,000	既存橋りょうの耐震補強の整備促進のため、点検を実施し、将来的な地震時の安全性を確保するもの。	点検結果を健全度ⅠからⅣまでに分類し、修繕が必要な健全度Ⅲ及びⅣの割合	健全度Ⅲ:10%以下、健全度Ⅳ:0%	健全度Ⅲ:16.7% 健全度Ⅳ:0%	C	変動なし						
3	狭あい道路整備事業	1	3.31	一般	288,242,400	265,589,000	建築基準法42条2項道路に接している地権者から、市が後退用地を取得することにより道路整備を促進し、市民の利便性・防災性・住環境の向上につながった。	狭あい道路の整備延長率	40.08%	40.06%	S	変動なし						
					1,583,640	0												
					36,264,240	8,092,872												
					261,090,879	265,588,266												

4	市道2574号線(茅ヶ崎ツインウェイヴ)道路修繕事業	1	0.00	一般	0	0	老朽化した道路施設の修繕を実施し、道路の安全安心を確保するもの。30年度は舗装修繕実績なし。	道路修繕面積	1,300㎡	0㎡	実績なし	変動なし		
5	市道4201号線(大山街道)道路整備事業	1	0.00	一般	6,729,000	0	幅員の狭い箇所のある「大山街道」を地域との調整を行い、歴史や安全に配慮した整備を行うもの。30年度は整備工事実績なし。	整備延長/整備率	300m 31.9%	0m 0%	実績なし	変動なし		
6	市道等舗装事業	1	0.37	一般	4,034,000	3,101,000	市・私道未舗装道路を舗装し、歩行者の通行の安全を確保し、住環境の向上につながった。	舗装面積	1,100㎡	365㎡	A	変動なし		
7	道路排水設備更新事業	2	0.14	一般	2,592,000	0	老朽化した道路排水ポンプ場設備の機器の更新を実施し、設備の長寿命化を図るもの。30年度は設備更新実績なし。	市内道路排水ポンプ設備更新状況	ポンプ設備 1/7箇所	ポンプ設備 0/7箇所	実績なし	変動なし		
8	駅周辺道路施設等更新事業	3	0.51	一般	19,528,000	7,189,000	駅周辺及び道路施設等の更新を実施し、利用者の安全確保につながった。	1エレベーター、2エスカレーターの修繕状況	① 5基/10基 ② 3基/6基	① 0基/10基 ② 2基/6基	A	変動なし		
9	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業	3	0.47	一般	3,856,000	0	茅ヶ崎駅南口広場を改修し、快適な歩行空間を整備するため、地元商店会等との協議を行った。	事業の進捗状況	周辺道路の渋滞軽減に向け一方通行の変更について、地元商店会との意見調整を行う	周辺道路の一方通行逆転に伴う、まちづくり協議会、自治会及び商店会との協議	C	変動なし		
10	道路整備事業	1	0.51	一般	112,909,000	34,526,000	市道の路面・歩道等の整備を行い、交通の安全を確保し、住環境の向上につながった。	舗装面積/土留築造延長/側溝改修延長	850㎡ 30m 450m	1124㎡ 0m 0m	A	変動なし		
11	狭あい道路調査等事業(提案型民間活用制度事業)	1	0.15	一般	5,367,600	6,260,000	建築基準法42条2項道路に接している地権者から、市が後退用地を取得することにより道路整備を促進し、市民の利便性・防災性・住環境の向上につながった。	自主後退協力要請成功件数	15件	13件	S	変動なし		
合計					H30予算(円)	331,405,000								
					H30決算(円)	321,136,118								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>道路管理課の評価としては、「S」2事業、「A」3事業、「実績なし」4事業、「C」2事業となっており、半数の事業で成果を出すことができた、もしくは今後成果が見込めるものとなっている。</p> <p>「C」評価とした「橋りょう等長寿命化修繕事業」においては、点検対象の橋りょう全6橋のうち1橋について、判定が健全度Ⅲであったため結果として16.7%となったものである。</p> <p>また、「実績なし」とした4事業「幹線道路維持保全事業」「市道2574号線(茅ヶ崎ツインウェイブ)道路修繕事業」「市道4201号線(大山街道)道路整備事業」「道路排水設備更新事業」については、地元要望により実施する必要性は高いことから、今後実現に向け体制を整えていくこととしている。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間5,808時間、一人あたりの月平均時間は約25.5時間、行2職を除く行1職一人あたりの月平均時間は39.7時間となっており、前年度比で総時間は2,310時間の増加、一人あたりの月平均時間は10.2時間の増加、行2職を除く行1職一人あたりの月平均時間は15.4時間の増加となっている。引き続き事業手法の見直しや事務改善に努める必要があると考える。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	道路の維持管理等については、市民生活に直結するものであり、現在実施している事業は、休廃止できるものではないと判断した。また、「実績なし」とした5事業についても、実施する必要性は高いことから、実現に向け体制を整えていくこととしており、現時点で休廃止の検討は難しい。
-	-	-

6 働かかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果
<p>市民等から寄せられる苦情・要望等については、主に連絡を受けてから対応に至るまでを1人の関係職員にて処理を行っており、その経過の中や対応後において、進捗状況の確認等の連絡を受けた際に、関係職員及び対応状況を確認するのに時間を要することがあり、更なる苦情が発生してしまうこと及び確認に時間を要することが課題となっていた。こうした状況を踏まえ、連絡を受けた苦情・要望等を課全体で一元管理できる体制づくりを行うため、苦情要望書処理簿の作成を行った。週一回定期的に、担当者同士で苦情の処理状況チェックの時間を設定し、情報共有を行い処理漏れがないように努めた。</p>